

しんじさん 澄水山 たのを愉しもう

澄水山と近隣の登山ルートを紹介

「花図鑑」付き



はじめに

松江の山々（地理院地形図に山名が記された山）は、自衛隊施設のため登れない高雄山を除いて、全て歩いてみました。その中で澄水山は、市の中心部から近く、誰にでも登れる山として親しまれています。

島根半島の山並みは北山と呼ばれ、持田地区の北山には、澄水山（標高508m）をはじめ大平山（標高503m）、滝空山（標高475m）が連なっています。尾根には枕木山から続く中国自然歩道が整備され、多くの方がハイキングなどを楽しんでおられます。澄水山は地元では、出雲方言で訛って「すんずさん」と、また愛称として勘助山とも呼ばれています。持田公民館では、澄水山を活用した様々な事業が展開され、多くの地区民・市民が参加されています。

澄水山の山頂（標高508m）はレーダー施設となっていて立ち入りできませんが、反対側のピークに四等三角点（澄水山 標高502.79m）があります。

澄水山への登山ルートは、地元で整備されている坂本町から登る「勘助の道」が一般的ですが、林道澄水山線の峠から、また枕木山からの縦走路のルートもあり、この縦走路は中国自然歩道の一部になっています。その他にも、納蔵東から縦走路へ登るルートや福原町から登るルートもあります。これらは古くからの旧道ですが、勘助の道や縦走路を除いては、今ではあまり人も通らず、情報もないので、詳しく紹介したいと思いますが、登山道としての整備がされていないので、初心者の方は注意が必要です。枕木山から三坂山を経ての縦走路は、林道北山線と重なっているのです、割愛しました。

また、澄水山の北側の日本海側から登る道もあり、島根町加賀の御手洗滝入口からのルートがあります。

今後、澄水山へ登られる方々の少しでも参考になればと、私が登ったルートとその時の写真を載せてみました。巻末には簡便な花図鑑も掲載しましたので、足元の花たちにも目を留めてみてください。

目 次

1 勘助の道	4
2 林道澄水山線からの縦走路	11
3 納蔵東から縦走路（持田別）へ	16
4 金井谷から縦走路（持田別）へ	23
5 虫野神社東尾根ルート	30
6 虫野神社西尾根ルート（福原登山口）	35
7 ハチクワンガ岩から勘助の道へ	43
8 明見滝	52
9 御手洗滝入口から澄水山へ	56
10 御手洗滝から澄水山へ	59
11 大滝	62
12 鉄塔巡視路No.21～23	67
13 新道トンネルから大平山へ	73
14 石井川から小城山へ	79
15 大平滝と旧道	87
16 大平滝から大平山へ	92
17 鉄塔巡視路No.19～17	101
18 澄水山・大平山の登山ルート一覧	107
19 昭和初期の澄水山付近の地形図	108
20 澄水山周辺で見る花図鑑	109

※「1 勘助の道」、「2 林道澄水山線からの縦走路」、「13新道トンネルから大平山へ」以外のルートは、登山道としての整備がされておらず、山歩きの経験の少ない方は、経験者の同伴をお願いします。

※本書に載せている地図は、地理院地図（電子国土Web）を加工して作成しています。

1 かんすけ みち 勘助の道

勘助の道は、古くからの道で、日本海側の加賀から峠を越えて持田を經由し、松江城下へ海産物が運ばれ、城下の物資が日本海側へ運ばれていました。また、山頂近くに澄水寺があった頃（明治7年に現地に移転）には、参道としても使われていました。最近では、この登山道を頂上付近にある勘助庵跡の伝説から「勘助の道」と名付けられ、澄水山は勘助山とも呼ばれて親しまれています。

登山口は坂本町の坂本上にあり、近くには数台の駐車スペースが設けられ、民家の脇から細い道が山へ向かっています。登山道はよく整備され、登山道脇にはじい石・ばあ石と呼ばれる大岩があったり、澄水寺跡があります。所々に石地蔵が残っているのは、澄水寺への参道だった名残ではないでしょうか。全体には急勾配の尾根をつづら折れに登っていきませんが、澄水寺跡の手前では、しばらく歩きやすい平坦な尾根道となっています。澄水寺跡からはまた急斜面となりますが、やがて登山道の先が明るくなり、峠の勘助庵跡につきます。澄水寺跡の手前に福原への分岐があり、斜面への道は通行不能となっていますが、尾根道をたどると、6，7で紹介する登山道があり、福原方面へ下ることができます。

澄水山の山頂付近は航空局のレーダー施設があり、立ち入ることができませんが、東隣りのピークには四等三角点（澄水山 標高502.79m）があります。頂上近くには、松江藩家老の下僕であった勘助が家老の姫君と隠れ住んだ跡として勘助庵跡の石碑が縁者によって建てられています。1.5時間程度で勘助庵跡に登ることができ、尾根では中国自然歩道、林道北山線に出会い、枕木山、滝空山、大平山へ続いています。



坂本町から見た澄水山（北山）



集落の奥へ入る。



突き当りの登山道入口



墓地の脇を過ぎる。



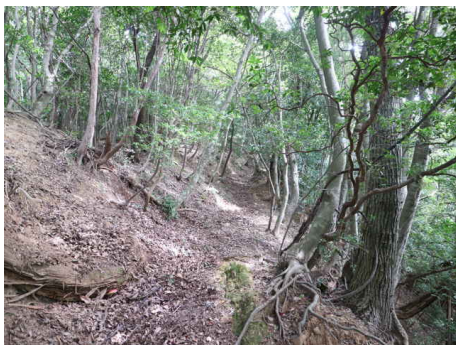
最初の案内看板



2番目の案内看板



尾根をつづら折れに登る。



斜面を登っていく。



前方に大岩が見える。



じい石



前方に大岩「ばあ石」がある。



岩の基部に石地蔵がある。



一部斜面が崩れている。



山頂まで1,000m



右の大岩は「昼寝石」



昼寝石の上からの様子



所々に一丁地蔵が残っている。



斜面を登る。



下山道の標識（福原へは通行不能）



平坦な尾根道



山頂まで500m



前方が草地になる。



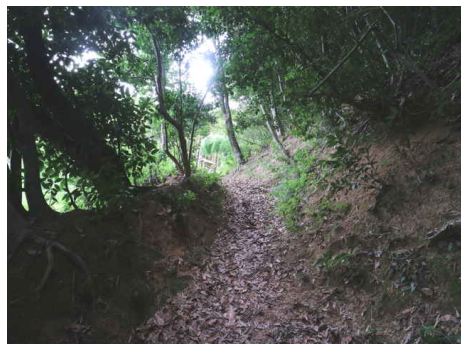
「澄水寺跡入口」の標識



左へ曲がると「山頂」の標識がある。



更に急斜面を登る。



勘助庵跡が見えてくる。



勘助庵跡



峠から南の展望



澄水山頂上は立入禁止

